

令和8年度までの目標	国語		算数・数学	
	自校A B層の割合	60%	自校A B層の割合	60%
令和5年度の成果	自校A B層の割合	41.2%	自校A B層の割合	44.1%

目標達成に向けた取組			
3つの観点	教員の指導力向上	基礎学力の保障	学習習慣の確立
学校全体の取組	<ul style="list-style-type: none"> ICTの活用、授業形態、学習形態等を工夫し、魅力ある授業を実践するために、研修を充実させる。 各授業の1時間で一度は「生徒一人一人に自分で考え、その考えを表現する場面」を取り入れた指導を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ドリルパークの活用。 放課後補習授業の活用。 日々の授業の授業規律の確立と、家庭学習習慣の定着を目指す指導を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 一人1台端末、デジタル教材の積極的な活用。 毎日の記録の確認を通し、日々の学習状況を把握し、助言を行う。 定期考査二週間前より、学習予定表を作成し、実行できるようにサポートする。
特に支援が必要な児童・生徒への手立て	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育推進委員会等で、配慮が必要な1人1人の生徒の特性を理解し、本人を支えていく体制を整える。 放課後・夏季休業中補習教室を実施して学習のフォローを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 放課後補習授業（数・英） ドリルパークの活用。 	<ul style="list-style-type: none"> 「江戸川っ子study week!」の取り組み ドリルパーク、東京ベーシックドリルの活用
成果指標	<ul style="list-style-type: none"> 校内の授業アンケートで、「授業内容がよくわかる。だいたいわかる。」の項目 90%以上 	<ul style="list-style-type: none"> 全国学力調査質問用紙「授業の内容はよくわかりますか」肯定的な解答の割合 85%以上 CD層（国・数・英） 40%以下 	<ul style="list-style-type: none"> 全国学力調査質問用紙 学校の授業時間以外の勉強時間1時間以上の解答割合 75%以上